

北海道新聞 自治体PR・地方創生関連ご案内

「三笠市「みんなで取り組む、観光地域づくり」企画」 モニターツアーやフォーラムの様について朝刊紙面で広く発信

北海道三笠市のDMO(観光地域づくりコーディネート組織)立ち上げ事業が、2020年度から始まりました。

初年度の活動では、三笠市民に「どんな三笠にしたいか」をインタビューすることから始まり、

市民有志で結成されたワーキングチームで「理想の三笠の姿」を実現するための事業内容を考案。

また、市民に、三笠の魅力を再発見してもらうためのモニターツアーや、DMOの先進地視察を実施。

そして、初年度最後には、三笠版DMOの方向性を市民へ報告しています。

その一連の活動を、朝刊紙面(札幌本社版15段)で2回に渡り紹介しました。

本事業について、三笠市民はもちろん、周辺の住民にも知っていただく機会としてご活用いただけただけは大変光栄に思います。

三笠市のDMO立ち上げ事業は次年度以降も続きます。DMOの立ち上がりを楽しみに、今後も本事業や三笠市の魅力を伝えるお手伝いができると幸いです。

(担当時：本社営業局 別所 亜沙美)

27【全国版】 2021年(令和3年)3月28日(日曜日) 北海道新聞

三笠市 観光で三笠を元気に!
みんなで取り組む、観光地域づくり

三笠市では、2020年春から「観光」をテーマとするまちづくりを着手しました。30年後、50年後も住み続けたい三笠であるために、一歩ずつ取り組んでいます。

令和2年度の取り組み

STEP 1 「どんな三笠にしたいか」 みんなで三笠の将来像を想像
30人を超えるさまざまな立場の市民の皆さんへアンケートを実施。この際のご意見をもとに、三笠版DMOのあり方や観光地域づくりの現状「観光ビジョン」を行っています。

STEP 2 三笠の魅力を掘り起こそう!
これからの三笠を担う世代の市民有志でワーキングチームを結成。先達事例の勉強や意見交換を重ね、「理想の三笠の姿」を実現するための事業計画を策定しました。

STEP 3 点を結んで線にする! 三笠の魅力を再発見
複数の観光地を組み合わせた市民向けモニターツアーを実施しました。昨年10月には「三笠のイン」と各地のつながりをテーマに、ジオガイドによる「野内湖周辺ツアー」や「キザワライオン」10箇所のツアー、「島の中のレストラン(EKARAJ)でタガログワインと和ら料理を堪能。第2回は今年2月に開催し、ゆかた道場の高をスーシューでめぐり、隠れた日本に会いに行ったあと、インストラクターの指導の下、本りに挑戦する「三笠の郷に魅れるツアー」を実施していただきました。「三笠でこんな楽しみ方ができる」とほろほろな気分になった方もいます。三笠の魅力が再発見されていたようです。

STEP 4 先進事例に学ぶ「地域ならではの魅力のブランド化」
三笠版DMOのあり方を検討するために、全国の先進DMOの回り組みを勉強。第1回は「観光地域づくりの先進地」といわれる長野県飯山市(「信州川」や「まね観光」)。第2回は三笠を通過した観光の目的地の一つでもある北海道美瑛町に学びました。
美瑛町では、美瑛町のデータの収集と活用の方法を指導。その際、DMOの中心役割を担っている有馬町の現職や、観光士と観光客との交流イベント「おとぎの国」のイベントが、美瑛町内をガイドツアー体験しました。「普通道のりしるべ」(「人材育成と行政の協力が必須」)「地域ならではの魅力のブランド化」という視点は、三笠の観光地域づくりの基盤となる「観光ビジョン」や、その中核となる三笠版DMOの事業計画に貴重なヒントをもたらしました。

STEP 5 三笠版DMOの方向性を市民へ報告
3月5日に、市民の皆さまを対象に本年度の事業報告会を実施。約30名の市民の方にお話しいただき、ワーキングチームが約半年をかけて書き出した「三笠」ならではの観光地域づくりの方向性をお披露目しました。いただいたたくさんのご意見を、2年目の事業に活かしてまいります。また令和3年度も、いろいろな形で市民の皆さまへ報告させていただきます。ご意見が聞ける機会がますます増えていくことを楽しみにしています。

DMOとは
Destination Management/ Marketing Organization。観光によって地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地」の観点に立った観光地域づくりの総取り役。多様な多様な業界の関係者と協働しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための機能を果たすとともに、観光を産業に昇格するための調整機能を果たす。

事業の歩み
令和2年度
市民インタビューの実施
市内各団体への事業周知・ヒアリング
ワーキングチームの結成
三笠版DMOの目的・使命の策定
先進地視察の実施
三笠版DMO方向性のまとめ
モニターツアーの実施
市民向け事業報告会の開催
三笠版DMO人設立
三笠版観光ビジョンの策定
令和3年度(予定)
ワーキングチームの運営
三笠版DMOの目的・使命の実施
先進地視察の実施
三笠版DMO方向性のまとめ
モニターツアーの実施
市民向け事業報告会の開催
三笠版DMO人設立
三笠版観光ビジョンの策定
令和4年度(予定)
三笠版DMOの日本版DMO目標
多様な観光客・事業者と連携し、三笠版DMOの魅力を発信し、三笠版DMOの発展に貢献する。また、三笠版DMOの発展に貢献する。

30年後、50年後も住み続けたい三笠にするために、三笠市観光地域づくりチームは挑戦し続けます。

三笠市では、一貫して地域マネジメントを担う組織づくりに挑戦しています。引き続きワーキングチームでの検討や、市民の皆さんへの説明会、観光資源の実証実験としてモニターツアーを実施するなどの取り組みを重ね、令和3年度内には「三笠版DMO」法人を設立する目標です。これからの三笠に必要な三笠版DMOの設立に向け、ぜひ、市民の皆さんのお力を貸してください。そしてみんなで、住み続けたい、子どもたちに残したい、そして三笠を創っていきましょう!

三笠市 Mikasa City

(2021年3月28日 朝刊 本社版 全15段)